

プログラムデザインコース

■ 「循環型社会を支える現場から学ぶ環境教育」①

～サステナブルな未来を拓く環境学習の実践～

■ 研修実施者 [株式会社京都環境保全公社]

日 時：2026 年 10 月 3 日（土）10：00～16：15
会 場：株式会社京都環境保全公社 伏見環境保全センター
定 員：25 名
講 師：勝浦紀行氏（株式会社京都環境保全公社 社長室 次長）
中村千恵子氏（株式会社京都環境保全公社 社長室 係長）
宮川晃典氏（株式会社京都環境保全公社 社長室 主任）
關口寿也氏（東京都多摩市立豊ヶ丘小学校校長）

集 合 時 間：10：00（受付 9：30～10：00）

集 合 場 所：株式会社京都環境保全公社（京都府京都市伏見区横大路千両松町 126）

ア ク セ ス：①無料送迎バス（京都駅 ⇄ 株式会社京都環境保全公社）（※所要時間約 30 分）

朝：JR 京都駅前 9:15 出発予定 夕：株式会社京都環境保全公社 16:30 出発予定

②マイカー利用 会場の専用駐車場をご利用される方は事前にお知らせください。

プログラム（予定）

9:30	受付（9:30～10:00）
10:00	開講、環境省挨拶
10:05	オリエンテーション、講師紹介、参加者自己紹介
10:20	会社説明、施設案内
12:00	昼食
12:50	環境教育の取り組み紹介
13:50	講義：学校とつながるためのワンポイントアドバイス 關口氏
14:20	休憩
14:30	ワークショップ
15:30	ワークショップ 発表、講師からの総評
15:50	質疑応答
16:10	事務連絡
16:15	終了・解散

※雨天時についても上記プログラムを安全に実施します（傘等の雨具は御持参ください）

※昼食はお弁当（有料）の注文を事前に承ります。お弁当等の御持参も可能です。

プログラムデザインコース

■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

当社は、1974 年に京都経済界の共同出資により産業廃棄物処理会社として創立され、1984 年には京都市伏見区および京丹波町（旧瑞穂町）にて事業を開始いたしました。以来 39 年にわたり、産業廃棄物の適正処理と 3R の推進に取り組み、1999 年には ISO14001 を取得しました。

「循環型社会の形成を通じて京都産業界の発展に寄与する」ことを事業目的とし、資源循環の実現に努めております。

2020 年度には、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、「環境保全事業を営む企業として、常に高い技術と知識を追求し、脱炭素社会および循環型社会の実現に寄与する」ことを基本方針とした SDGs 活動を本格的に開始しました。

2022 年度には「新 3 号焼却炉」が竣工し、廃棄物発電による新エネルギー事業を開始しました。廃棄物エネルギーの最大活用を図り、工場内での電力利用や隣接企業への熱供給を進めることで、温室効果ガス削減の取組を加速させています。また、電力販売収入の一部を環境保全団体へ寄付し、“住み続けられるまちづくり”への貢献も行っています。

さらに、地域の環境保全活動を担う人材育成にも力を入れています。2017 年度より京都商工会議所主催の小学校向け環境学習事業に参画し、主に 4 年生を対象に「ごみって何？ごみは何に生まれ変わる？」をテーマとした環境教育を実施しています。

2025 年度は 12 校を訪問し、授業後には「分別することでリサイクルできることを知った」「リデュースを続けてごみを減らしたい」など、子どもたちから前向きな声が寄せられました。こうした取組が評価され、令和 5 年 3 月には京都市長より、環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」として認定されました。

■ URL HP : <https://www.kyoto-kankyo.net/>

Youtube: <https://www.kyoto-kankyo.net/corporation/movie.html>

